

# 「プラネタリウムのないまち、函館」

NPO 法人 函館プラネタリウムの会 村井 茂

## 本日の内容

- 1、函館プラネタリウム館で上映されているプログラムの紹介
- 2、NPO 法人函館プラネタリウムを作るきっかけとなった、趣味と経歴と思うこと
- 3、プラネタリウム作成の経緯
- 4、地球と月
- 5、宇宙の大規模構造
- 6、星座早見表を作ろう
- 7、空の目印
- 8、太陽星の一生
- 9、地球の歴史
- 10、ノーベル賞を取った日本人宇宙物理学者

## 履歴

- 1950年 函館に生まれる
- 1956年 函館市立新川小学校入学
- 1962年 函館市立新川中学校入学
- 1965年 道立函館中部高校入学
- 1968年 岩手医科大学歯学部入学
- 1975年 札幌医科大学口腔外科入局

当時、「谷間の口蓋裂児たち」が、毎日新聞北海道版に連載されていた。

札幌医科大学口腔外科では、週6例口蓋裂児の手術が行われていた。その影響を受け、できれば函館に戻った際には、口蓋裂児のために私が、できることをしたいという思いを持った。

- 1979年 北海道医療大学歯学部矯正歯科学入局
- 1983年 市立函館病院 歯科科長
- 1987年 みはら歯科矯正クリニック開設
- 1987年 函館中央病院形成外科とのチーム医療開始
- 2003年 函館市立中央小学校で、初めてのプラネタリウム

待ち行列ができ、子供たちへの必要性を感じる。

- 2005年 エアードームにて、各所で上映（2000人以上に来てもらった）

開催するごとに、拍手と歓声がおき、子供たちへの必要性をより強く感じた。

- 2011年 函館プラネタリウム館 開館 NPO 法人函館プラネタリウムの会設立

NPO 法人 プラネタリウムの会 村井 茂